

4. 登別市次世代育成支援行動計画（後期計画）の進捗状況

（1）次世代育成支援行動計画（後期）を振り返って

登別市次世代育成支援行動計画（後期計画）の計画期間中の進捗状況について調査を行いました。

目標事業量の数値を掲げる31事業の目標到達率については、到達目標を100%上限とした場合の「到達率」は、平成25年度で77.0%（未確定）となっています。

主な具体的取組としては、放課後児童クラブ事業では平成24年に登別小学校区内に放課後児童クラブを開設し30人の定員増を図り、地域子育て支援拠点事業では平成22年に富岸地区に富岸子育てひろばを開設しました。また、放課後子どもプラン推進事業では平成23年に幌別東小学校で開設し、登録・利用者数が目標の200人を超える状況になっています。

一方で、未実施については、病児・病後児保育事業と認定こども園の推進があり、いずれも市単独で実施することが困難なことから、関係機関の協力を得ながら今後も事業の推進に努めていきます。

(2) 次世代育成支援行動計画(後期)の目標達成状況

事業名	指標名	単位	事業策 定時	現状値	目標値	達成率
			H21	H25	H26	
ファミリーサポートセンター事業	設置数	か所	1	1	1	100%
放課後児童クラブ事業	設置数	か所	6	7	8	87.5%
	定員数	人	180	210	240	87.5%
子どもショートステイ事業	設置数	か所	1	1	1	100%
一時保育事業	実施数	か所	1	1	2	50.0%
	利用実日数	利用実日数	799	511	1,100	46.5%
地域子育て支援拠点事業	中央センター	か所	1	1	1	100%
	地域センター	か所	1	2	3	66.7%
通常保育事業	実施数	か所	5	5	5	100%
	0～2歳児定員数	人	180	180	180	100%
	3～5歳児定員数	人	360	360	360	100%
延長保育事業	実施数	か所	5	5	5	100%
	利用平均実人数	人	67	65	153	42.5%
休日保育事業	実施数	か所	1	1	1	100%
	1日平均利用人数	人	3	2	10	24.0%
病児・病後児保育事業	実施数	か所	0	0	1	0%
認定こども園の推進	実施数	か所	0	0	2	0%
児童館	実施数	か所	10	11	12	91.7%
放課後子どもプラン推進事業	実施数	か所	1	2	2	100%
	登録・利用数	人	91	213	200	100%
母子健康手帳	交付者数	人	374	324	妊婦全員	100%
妊婦訪問	訪問数	人	328	251	妊産婦全員	100%
妊婦健康診査 (一般健康診査)	交付数	人	374	352	妊婦全員	
妊婦健康診査 (超音波検査)	交付数	人	374	352	妊婦全員	
すこやかマタニティ教室	参加実人数	人	112	85	第1子出産予定の妊婦全員	
乳児訪問(家庭訪問)	訪問数	人	340	331	新生児・乳児全員	
乳児訪問(こんにちは赤ちゃん訪問)	訪問数	人	59	331	生後4か月までの乳児全員	

事業名	指標名	単位	事業策 定時	現状値	目標値	達成率
			H21	H25	H26	
乳幼児訪問	訪問数	人	56	261	支援を必要とする幼児	
乳児相談	相談数	人	56	455	相談ある乳幼児全員	
4か月児健康診査	健康診査数	人	327	305	4か月児全員	95.9%
1歳6か月児健康診査	健康診査数	人	397	320	1歳6か月児全員	95.8%
3歳児健康診査目標	健康診査数	人	350	309	3歳児全員	92.0%
乳児歯科保健対策 (フッ素洗口)	洗口数	人	205	193	保育所通所児全員	95.5%
乳児歯科保健対策 (フッ素塗布)	塗布数	人	697	597	申込者全員	
母子栄養管理	利用者数	人	316	318	8か月児全員	
家庭教育学級作品展	展示学級数	学級	8	7	12	58.3%
家庭教育講演会	参加数	人	34	30	100	30.0%
文化伝承館体験学習	開催数	事業	19	13	20	65.0%
子ども110番スタ ディちゃんの家	設置数	か所	529	483	600	80.5%

(3) 次世代育成支援行動計画(後期)の進捗状況

対象事業名	事業概要	進捗状況等
産後子育てママ派遣事業	出産後まもなくの間、ヘルパーが訪問して身の回りの世話などを行い、日常生活を営むことができるよう支援	地域に親類等がなく、里帰り出産ができない状況の不安を解消 H25年度実績：派遣件数3件、派遣延べ日数25日
里親制度	里親制度の活用を図ることにより、児童福祉の向上に努める	要保護児童を家庭環境の中で養育するもっとも望ましい養育形態である H25年度実績：里親会員数5人
私立幼稚園保育の充実	延長保育（預かり保育）を推進するとともに、幼児教育の充実に努める	継続実施に努める
地域巡回子育て広場	子育てサポーター等の支援により、相談や遊びを通じた交流を行い、仲間づくりを広める場の提供を行う	若草つどいセンターと鷺別公民館に加え、平成26年度から道営住宅であえーるはまなす団地で月1回開催 H25年度実績：延べ利用人数614人
お父さんの子育て広場	子どもと楽しく遊びながら、情報交換や交流の場を提供し、父親の子育て力の向上を促す	登別子育て支援センターで偶数月の第3土曜日に開催 H25年度実績：実施回数6回、利用人数85人
私立幼稚園の休日開放	土・日曜日に園児の父母等に交流の場を提供し、地域における子育てを支援	未実施
ふれあい子育てサロン	子育て中の親子と高齢者が、興味や関心にあわせた交流・活動等を通じ、仲間づくりの支援と拡大に努める	社会福祉協議会で「ふれあい・子育てサロン推進事業」として団体を支援 H25年度実績：サロン数4か所
子育てサポーターと地域ボランティアの育成	地域の子育て支援等の充実に努めるため、子育てサポーターや地域ボランティアの発掘・育成に努める	継続実施に努める
幼児教育等に関する情報提供等の促進	保護者等からの相談に対し、情報提供を速やかに受け入れられるような体制づくりの促進を図る	継続実施に努める
子育て相談	子育てグループや子育て支援センターで行い、子育てを支援	電話・FAX・来園による相談受付 H25年度実績：相談数404人
情報の提供	子育て支援に関する情報を広報誌及び市、関係機関のホームページにより情報提供し、市内サービス機関等の協力を得て充実に努める	子育て支援情報誌を毎年発行 H25年度実績：200冊
対象事業名	事業概要	進捗状況等

お父さんの子育て手帳の作成・配布	お父さんの子育てを支援するために、子育て情報を提供	未実施
お父さんの料理教室	お母さんのサポートや親子同士の交流を図るため、お父さんを対象にした料理教室を行う	未実施
男女共同参画の推進	一人ひとりの能力を活かして働き、同時に家事などにも力を注げるような社会を形成するため、講演会の開催や情報誌等による啓発周知に努める	平成 24 年に登別市男女共同参画基本計画第 2 次計画を策定し、実施計画搭載事業を推進
乳児保育事業	生後 6 ヶ月以上の日々保育に欠ける乳児を保育し、乳児の健全な発達を促す	希望保育所でない場合もあるが、全て受け入れている H25 年度実績：0 歳児入所人数（3/31 現在）25 人
障がい児保育事業	心身に障がいを持つ児童や発育・発達に心配のある児童の健全な成長、発達を促す	加配職員確保に苦慮しているが、希望者は全て受け入れている H25 年度実績：障がい児入所人数 40 人
保育所広域入所事業	保護者が通勤などの都合により、他市町村の保育所にも入所できるように配慮し負担軽減を図る	保護者の利便性が図られるよう受け入れ先の市町村との調整を行っている H25 年度実績：入所人数 3 人
保育所地域活動事業	お年寄りとの世代間交流や地域の異年齢児交流事業を実施	交流内容の充実を図り子どもたちの発達を支援 H25 年度実績：交流実施回数 25 回、交流先延べ参加人数 452 人
保育の質の向上	保育士の専門性、人材の安定的な確保を目指し、研修体制等の充実などに取り組む	H25 年度実績：参加回数 3 回、参加人数 38 人
子育て支援センター事業の充実	子育て支援事業や相談機能を提供できるよう、子育て支援センターを中心とした関係機関の充実を進める	平成 26 年度より、中央子育て支援センターに臨床心理士の資格を持つ「子どもの心と発達相談員」を配置し関係機関と連携を図っている
子育て支援情報の提供	各種の子育て支援サービス等が、利用者に十分周知されるよう、子育てガイドブックなどによる情報提供の充実を図る	子育て支援情報誌を毎年発行 H25 年度実績：200 冊
子育て支援サークルへの支援と連携	親子交流を行っている子育てサークルの取り組みなどに対する支援や連携を行う。	製作・運動あそび等の提供 H25 年度実績：団体数 2 団体、人数 138 人
家庭教育手帳の配布	家庭における子育て情報「家庭教育手帳」の CD-ROM 化を図り、活用できるよう子育て家庭の支援を行う。	平成 22 年度を以って「家庭教育手帳」配布終了。以降 CD-ROM 化し、また北海道教育委員会の HP にて引き続き掲載されている
対象事業名	事業概要	進捗状況等

家庭教育啓発	家庭教育のあり方についての親や市民に啓発を行うため、広報紙「明日を開く窓」を発行 ◇ 平成 20 年度実績 年 3 回発行	平成 23 年度に休止し、同年より教育広報「教育のぼりべつ」となった
青少年会館	青少年が学習、サークル活動、等を通じ、余暇の活用、社会文化の向上を目途に健全な次の世代の担い手になる場を設置。 ◇ 平成 20 年度末設置実績 4 か所	市民のスポーツ振興の場の一つとして活用されており、稼働率も高い 平成 25 年度末設置実績 2 か所
図書館	児童の教養や文化の学習等に寄与するとともに、図書館機能の充実を図る	「第 2 次子ども読書活動推進計画」を策定した。全小学校の学級文庫への団体貸出の実施等を行った
児童デイサービスセンターのぞみ園開放事業	心身障がい児の居場所づくりとして、土曜日・日曜日・祝祭日に開放	地域活動支援センターや他の公共施設等での利用が可能となり、平成 25 年度をもって事業を終了
図書館事業	親子がふれあう機会を計画的に提供するため、図書館を会場に各種事業を実施 ◇ 平成 20 年度実績 親子工作・読み聞かせ・紙芝居など	おはなし会、子ども映画会、野外映画会、図書館まつりなど、年間を通して多種多様な事業を実施
社会教育施設の開放事業	4 月中旬から子どもの日までを「資料館の日」とし、無料開放 ◇ 開放施設：郷土資料館 ◇ 参加延べ数 551 人	多くの子どもたちが利用 H25 年度実績：入館者数 120 人
スポーツ振興事業	小中学生を対象としたスポーツ教室等を開催 ◇ 平成 20 年度実績 参加延べ 1,010 名	一般財団法人登別市文化・スポーツ振興財団が主催するスポーツ事業に対し補助金を交付 H25 年度実績：参加者延べ人数 804 人
スポーツ少年団等への支援	スポーツ少年団本部への助成により、加盟団体の育成を支援 ◇ 平成 20 年度実績 22 団体 364 人	H25 年度実績：少年団加盟者数 320 人
ネイチャーセンター自然体験事業	子どもたちの豊かな心や生きる力を育むため、ネイチャーセンターにおける事業を推進 ◇ 平成 20 年度実績 開催数 148 回・参加延べ 4,116 人	指定管理者による事業を中心に、鉢山地区の自然を活用した自然体験活動を推進 H25 年度実績：参加延べ人数 25,106 人
子ども会活動への支援	登別市子ども会育成連絡協議会が開催する「こいのぼりマラソン大会」や「かるた大会」を支援 ◇ 平成 20 年度実績 5 事業・参加者延べ 312 人	H25 年度実績：加入者 2,286 人
対象事業名	事業概要	進捗状況等

郷土資料館・文化 伝承事業	地域文化の理解や親子のふれあ いを深めるため、資料館の日の 設置や親子体験事業等を実施 ◇平成20年度実績 19事業・ 参加者延べ786人	継続実施に努める
子ども地域交流 プラザ	自然体験などを通して、親子の ふれあいや異年齢の子どもによ る集団活動等を展開 ◇平成20年度実績 6地区・参 加者延べ2,669人	平成23年度より学校支援地域 本部事業に組み入れて更なる発 展を図る
ボランティア体 験月間	気軽に無理なく体験できるプロ グラムを関係機関・団体等の協 力を得て実施 ◇平成20年度実績 48種類・ 45団体・参加者延べ206人	社会福祉協議会のボランティア センターで、「ボランティア体 験事業」を実施
安全・安心な居場 所づくり	「放課後子どもプラン」を推進 するとともに、中高生が自ら考 え提案する活動の拠点づくりを 支援	各教室とともに地域住民の協力を 得ながら放課後における子ども の居場所として定着 H25年度実績：実施数2か所
生涯学習フェス ティバル	郷土芸能やよさこいソーランな どの団体の活動紹介やものづく り体験、遊びを取り入れたフェ スティバルを隔年で開催	H23年度より開催中止
学校開故事業の 推進	地域のスポーツ活動促進のため、 市内の小・中学校の体育館を 解放 ◇平成20年度実績 10校・66 団体	平成25年度に2校、平成26 年度に全校において、利用者に よる自主管理体制へ移行
社会を明るくす る運動	青少年の非行防止や更生保護の ために、メッセージ伝達式、啓 発活動等を実施	例年実施していた街頭パレード を平成25年度以降中止
補導センターの 充実	関係機関や団体、地域と連携を 密にし、青少年の非行防止と保 護に努める	青少年センターで青色回転パト ロール車を活用して市内全域を 巡回し、非行防止などの抑止に 努めている
楽しい花火の遊 び方の啓発	花火を正しく使い、楽しく遊ぶ ことを啓発	ホームページや広報のほりべつ で啓発すると共に、小学校等の 消防訓練時に周知徹底
保育所世代間・異 年齢交流事業	世代間交流事業を実施 ◇平成20年度世代間交流事業 実績 5保育所・参加延べ2,327 人 ◇異年齢交流事業実績 1保育 所・参加延べ166人 ◇地域交流事業実績 1保育 所・参加延べ108人	交流内容の充実を図り子どもた ちの発達を支援 H25年度実績：交流会実施回数 25回、参加延べ人数452人
私立幼稚園異年 齢・世代間交流事 業	幼稚園児と地域のお年寄りや児 童等との交流を通して、ふれあ いや思いやりのある心を育む。	継続実施に努める
対象事業名	事業概要	進捗状況等

小学校世代間交流	異年齢層間でのコミュニケーションを活性化させる ◇ 平成 20 年度実績 8 校で実施	高齢者を敬愛し、対話や遊びなどの交流を通して世代を超えたふれあいを図っている H25 年度実績：実施数 8 か所
不妊治療の普及啓発	北海道が行う「特定不妊治療費助成事業」の普及啓発に努める	北海道で作成した周知用パンフレットを窓口で掲載
保育所における食育の推進	「保育所食育計画」を策定し、家庭と保育所の役割を分担し連携し、食育の推進を図る	継続実施に努める
乳幼児食育事業	もぐもぐ食育ひろば：月齢に応じた離乳食の進め方や必要な栄養についての講話や母子間交流を行う	第 1 子の保護者を中心に実施 H25 年度実績：参加数 84 組
おやつ作り講習	栄養士の指導により、おやつ作りを楽しみながら、お母さん同士の交流を深める講習を開催 ◇ 平成 20 年度実績 参加延べ 36 人	年 1 回の実施で託児をしておこなう H25 年度実績：参加数 21 人
思春期の健康と性の問題	「思春期教室」等を開催し、自らを大切にすることを学習する場を設けて、相談体制の充実を図る	市内の中学校を中心に依頼に応じて実施 H25 年度実績：実施回数 5 回
スクールカウンセラーの配置	臨床心理士などの専門家を学校に拠点校方式で配置し、児童・生徒へのカウンセリング体制の充実を図る ◇ 平成 20 年度実績 配置校：西陵・緑陽中学校 相談件数 226 件	児童生徒が抱える問題の多様化、複雑化により相談件数が増加傾向 H25 年度実績：相談件数 379 件
心の教室相談員の配置	生徒たちの不安やストレスなどを和らげ、心のゆとりを持てるよう相談を行う ◇ 平成 20 年度実績 配置校：登別中・幌別中・緑陽中・鷺別中 利用生徒数 2,249 人・相談件数 89 件	気軽に相談できる体制が確立されており、ふれあいを求めて来室する生徒も多い H25 年度実績：相談件数 26 件
こころの健康づくり	市のホームページにこころの体温計を掲載し、相談や啓発を行う。精神科医師や保健師が相談にのる「心の健康相談」の普及啓発に努める	平成 24 年度から新たに登別市ホームページ上にこころの体温計を掲載し、簡単にこころの健康を確認できるツールを周知し活用を勧めている
薬物乱用防止対策や性教育対策の講習会	性に関する健全な意識の涵養と併せて喫煙や薬物等に関する正しい知識の普及を図るため、講習会を実施	保健の授業や講習会等で取り組んでいる
対象事業名	事業概要	進捗状況等

小児救急医療への対応	小児救急医療支援事業を実施し、小児救急医療等の対応に努める	休日及び夜間の診療体制を整え、小児重症救急患者の診療を確保 H25年度実績：診療確保日 365日
小児救急医療電話相談の普及啓発	小児科医等から子どもの症状に応じたアドバイスを受けることができる、北海道が行う「小児救急医療電話相談事業」の普及啓発に努める	夜間の救急医療の相談にのっている H25年度実績：実施日 365日
予防接種推進の取り組み	予防接種による免疫効果や安全性等の情報を提供するとともに、予防接種の推進に努め。	予防接種は、多くの疾病の流行の防止に大きな効果をあげている H25年度実績数：BCGの接種数 278人
新入学児童健康診断	入学にあたっての健康指導や入学後の保健指導などに役立てる大切なもので、全ての新入学児童を対象に実施	全ての新入学児童を対象に健康診断を実施
児童生徒健康診断	■結核検診 (対象：小・中全員)	対象となる児童生徒の検診を実施
児童生徒健康診断	■心臓検診・眼科検診・耳鼻科検診 (対象：小1・中1)	対象となる児童生徒の検診を実施
児童生徒健康診断	■ぎょう虫卵検査 (幼稚園・小1～小3)	対象となる児童生徒の検診を実施
児童生徒健康診断	■尿検査・内科検診・歯科検診 (小・中全員)	対象となる児童生徒の検診を実施
健康増進計画の策定と推進	「健康寿命」を伸ばすことを目指す「健康増進計画」を推進	現行の健康増進計画は平成26年度で終了。現在、第2期計画を平成27年～36年までの計画年次で策定作業中
子育て講演会	最近の社会問題から、子どもを取り巻く環境と大人としての子どもへの接し方を考える	H26年度は託児をしておきのリース作りや未就学児の保護者向けの講演会を予定
子育て講座-親子であ・そ・ぼ-	親子で遊ぶ楽しさを、子育て支援センターで体験	ふおれすと鉱山・水族館等の親子バス遠足・食事と発達の講座を年5回程度実施 H25年度実績：参加人数 551人
対象事業名	事業概要	進捗状況等

男女共同参画講演会・学習会	女性と男性がお互いの人権を尊重し合い、共に支え合う男女共同参画社会の形成を目指し、講演会や学習会を開催	登別市男女共同画基本計画（はあもにいプラン21）をベースに平成25年度からの第2次計画を策定 H25年度実績：講演会・学習会の開催5回
男女共同参画の啓発	情報誌やパンフレット、ビデオ等による啓発を推進	継続実施に努める
確かな学力の向上推進事業	学力向上対策事業：学習状況の実態を把握するため、小中学校において標準学力検査を実施	学校間・学級内の学力差などの課題解決に向けた指導方法等の工夫改善を図っている
特色ある学校づくり推進事業	自由な学習環境の中で学ぶ総合学習や、命の尊さや自然に親しむ心を育てる小動物の飼育や学校菜園などを推進	温泉入浴体験、地域人材を活用した講演・野外体験学習、職業体験などを実施
登別市青少年表彰	郷土登別市の担い手としての豊かな心と実践力を持ち、他の模範となる青少年を表彰	広報、HP等の周知はしているが、該当者なしが続いている
少年の主張大会	子どもたちが、日常生活の体験や、日ごろ考えていることを広く訴える大会を開催	少年が日常生活の中で考えることに対する大人の理解を深め、少年の健全育成にも繋がっている H25年度実績：発表者12人
通学合宿事業	自主性や協調性、適応能力など生きる力を身に付ける事業を推進 ◇平成21年度新規事業	定員を上回るほどの申込みがあり、人気事業になっている H25年度実績：参加者数182人
教育相談・いじめ相談	専門相談員を2人配置し、電話や来室による相談を受ける ◇平成20年度実績 相談件数19件	引き続き気軽に相談できる環境の充実に努める H25年度実績：相談件数12件
保護者懇談会	不登校児童・生徒をかかえる保護者との懇談会を開催して不登校対策に努める ◇平成20年度実績 毎月第2火曜日	現在は実施日を設定しているものの、懇談会の要望がない
ふれあいサポート懇談会・地区別懇談会	教職員（幼稚園、小・中学校）を対象とした不登校・いじめ等対策のための研修会を実施 ◇平成20年度実績 懇談会年2回開催・地区別年2回開催	教職員向けの研修を柱として事業を実施 H25年度実績：懇談会4回
生徒指導担当者連絡会議	生徒指導担当者（部長）連絡会議を開催 ◇平成20年度実績 小中高合同年1回、小中及び中高合同年2回	児童生徒の問題行動等についての情報交換と対応事例の交流等を実施 H25年度実績：3回
対象事業名	事業概要	進捗状況等

スタディ広場	適応指導教室等の機能として、不登校児童生徒の復帰支援 ◇ 平成 20 年度実績 毎週火・水曜日開設	適応指導教室の開設日を設定しているが、平成 26 年度における通所者はいない
不登校・いじめ等対策会議	不登校・いじめ等の対策を推進するための会議を開催 ◇ 平成 20 年度実績 年 2 回開催	不登校の事案と対応事例について情報交換を実施 H25 年度実績：2 回
不登校・いじめ等対策教職員研修	教職員（小・中学校）を対象とした、不登校・いじめ等対策のための研修会を実施 ◇ 平成 20 年度実績 年 2 回	教職員向けの研修を柱として事業を実施 H25 年度実績：2 回
いじめ学習資料の配布	室蘭保健所主催の精神科医師や保健師による『心の健康相談』を無料で実施	学習資料を年 1 回配布
広報誌の発行	「いじめ学習資料」を、小学 5 年生、中学 1 年生全員に配布 ◇ 平成 20 年度実績 年 1 回	平成 24 年度より「教育広報」に統合して発行 H25 年度実績：年 3 回
開かれた学校づくりの推進事業	広報誌「手をつなぐ親と子」を発行し、幼稚園児や小・中学校生のいる家庭に配布 ◇ 平成 20 年度実績 年 3 回発行	地域の実情と課題について、学校関係者や地域住民等と情報共有や意見交換を実施
幼児教育等に関する情報提供等の促進	各幼稚園で、日頃の幼児教育に関する不安や悩みなどの相談や情報提供を速やかに受け入れ得るような体制づくりを促進	未実施
学校給食指導事業	各保育所・幼稚園に入所・入園している 5 歳児を対象に、学校給食の指導を実施 ◇ 平成 20 年度実績 1 月～2 月（10 日間）・対象児童 254 人	食育のあり方、負担の公平性等を踏まえ、平成 26 年度は実施回数を 5 回に縮小し、平成 27 年度に廃止 H25 年度実績：実施回数 10 回・対象児童 252 人
私立幼稚園教育の支援事業	私立幼稚園に通園する園児の保護者の保育料負担の軽減や教育内容などの充実を図るため支援	保護者の経済的負担の軽減や幼稚園教育の振興の観点から、十分役割を果たしている
幼児教育の振興	0 歳からの教育を適切に推進するため、時代にふさわしい幼児教育の振興を図ります。	未実施
家庭教育学級	幼稚園児や小学生をもつ親が自主企画して行う、子育て等に関する学習会などを支援 ◇ 平成 20 年度実績 12 学級（幼稚園 4・小学校 8）・年 47 回開催 参加延べ 1,417 人	家庭の教育力が低下している中で、子どもたちの健全な育成を図るためにも、家庭の教育力を向上していく必要がある H25 年度実績：年 26 回開催 参加延べ 942 人
対象事業名	事業概要	進捗状況等

豊かな体験活動の推進	各中学校区地域教育協議会へのボランティア活動の取り入れ、ボランティア活動の機会提供とその充実を図る ◇ 平成 20 年度実績 6 地区・参加延べ 2,825 人	地域ボランティアの高齢化が進んでおり人材確保が課題 H25 年度実績：5 地区・参加延べ 3,784 人
学校支援地域本部事業	地域のボランティアで学校を支える仕組みづくりを構築するため、学校支援地域本部を設置。各中学校区における事業の充実を図る	学校からの要望事項をスムーズに進めるため、各中学校区のコーディネーターが地域などを回りボランティア確保を進めている
有害図書立ち入り調査	実態把握と業者等の自主的措置を促すため立ち入り調査を行う ◇ 平成 20 年度実績 年 1 回	立入調査員と青少年指導員等で年 1～2 回書店などを回り有害図書の実態把握に努めている
児童の巡回指導	万引き等に関する調査や大型店舗等における児童への巡回指導を実施	大型店舗等における巡回指導を行うとともに関係機関と連携を密にし、児童の健全育成を図ってきた
良質な住宅の確保	公営住宅の建設、建替え時において、子育て家庭や高齢者などの入居者が安心して生活できる良質な住宅の供給を図る	登別旭団地を平成 24 年度 1 棟 8 戸、平成 25 年度 1 棟 8 戸建替えた際 UD 化。平成 26 年度千代の台団地基本構想、平成 27 年度実施設計予定で、他の市営住宅も含めこれからの課題としていきたい
幅広い歩道や照明灯の整備	幅の広い歩道などを含めた道路交通環境の整備と交差点や急カーブなどの幹線道路等に照明灯を設置	道路改良工事に伴い、歩道部分も合わせて整備して行きたい
危険防止	危険箇所の点検、交通安全施設や水路における安全防護施設の整備や遊泳禁止場所での指導	市内小中学校における生徒指導会議において危険箇所などを提言していただき安全対策を計っている
公共施設のバリアフリー化	段差の解消や自動ドアの設置などバリアフリー化を進める	継続実施に努める
子どもに配慮した環境整備	児童館や公園の整備を図るとともに、子ども自身が遊びを見つけて、遊びを創りだせるような環境を整備する	老朽化している遊具等の公園施設を計画的に改築・修繕しており、利用者の安全性の確保が図られている。平成 23 年度に青葉児童館を整備
子育てに配慮した環境整備	公共施設等において、ベビーベッド、オムツの交換場所など、子育て世帯が安心して利用できる設備の整備に努める	未実施
バリアフリー情報の提供	子育て世帯や高齢者世帯等へ、公共施設のバリアフリー等に関する情報の提供を推進	バリアフリー情報を掲載した冊子「福祉マップ」の内容見直しを平成 22 年度に実施
対象事業名	事業概要	進捗状況等

防犯活動の推進	関係団体が連携しながら街頭犯罪等の防止や少年非行防止などを推進	街頭犯罪等の防止や少年非行防止などの啓発活動を実施
中学校区健全育成関係団体	各中学校区で子どもの健全育成を目的に活動する関係団体を支援	地域ぐるみで青少年の健全育成に努めているとともに市内小中高等学校合同生徒指導担当者連絡会議などを活用し問題行動等の早期発見に努めている
補導センター活動	関係機関や団体、地域と連携を密にし、青少年の非行防止と保護に努める	青色回転パトロール車を活用して市内全域を巡回し、非行防止などの抑止に努めている
防犯灯の設置推進	町内会などが地域の安全を確保するために設置・改修する防犯灯について支援 ◇ 平成 20 年度実績 新規設置 13 町内会 33 基 補修 38 町内会 119 基	引き続き町内会への防犯灯設置支援を行っていく H25 年度実績：新設・補修基数 299 基
仕事と生活の調和の実現のための働き方の見直し	仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の具体的な取り組み方法等について、普及・啓発を図る	未実施
幼児の交通安全教育	交通安全ルールを理解と安全に行動できる習慣と態度を身に付けることを目標とする ◇ 平成 20 年度実績 こぐまクラブ交通安全教室を開催・参加延べ 900 人	毎年、市内全幼稚園・保育所を対象として、こぐまクラブ交通安全教室を開催 H25 年度実績：933 人
小学校の交通安全教育	家庭、学校を通じて、歩行者としての安全、自転車の安全運転、身近な交通規制を重点的に指導	新入学児童に対する交通安全啓発、新入学児童を交通事故から守る街頭啓発などを行っている
中学校の交通安全教育	中学性に対して、自転車の安全な利用、自動車の特性に応じた安全な行動、交通事故の防止と安全な生活について指導を行う ◇ 平成 20 年度実績 緑陽・西陵中学校で実施 参加延べ 663 人	引き続き交通安全教育に努める H25 年度実績：緑陽・西陵中学校で実施 参加延べ 565 人
高等学校の交通安全教育	高校生に対して自転車の安全運転と車両としてのルール遵守、二輪車・自動車の特性に対応した交通事故の防止について交通安全指導を行う	未実施
交通安全教育広報活動の推進	交通安全教育に関する広報活動を行う	スピードダウンの呼びかけ、シートベルトの着用、飲酒運転の根絶等、市民サービスグループだよりや市ホームページ等により周知・啓発している
対象事業名	事業概要	進捗状況等

主要通学路等における交通安全指導	主要通学路等における交通安全指導員の立哨指導を行う	4月から10月までの7:30～8:10と13:30～15:30の児童が多い1時間、交通安全指導員が主要通学路等での立哨指導を行っている
シートベルト・チャイルドシート着用の推進	シートベルトの着用、チャイルドシートの後部座席設置による着用の意味について、あらゆる機会を通じて啓発を行う	市民サービスグループだよりや市ホームページ等により周知・啓発している
子どもを守る緊急地域連絡会議	子どもが安心して学び・遊べる安全な環境づくりを地域で取り組み、学校、家庭、地域が連携を密にし、子ども達を事件、事故から守るための緊急対策を実施	青少年センターと連携した不審者対策に取り組んでいる
児童の安全の確保	学校や地域のボランティア・保護者等が協力して、登下校時等の見守りや巡回等を行う	学校や地域と連携を図り、児童の登下校においては地域見守り隊などと協力して、児童の安全確保に努めている
要保護児童対策	要保護児童対策地域協議会を設置し、地域の関係機関と連携して、未然防止や再発防止等に努める	平成24年度に虐待死亡事例が発生したことを受け、二度とそのような事例を発生させないように実効性のある取り組みを推進 H25年度実績：発生件数33件
要保護児童対策地域協議会	児童虐待等の情報提供に基づき、要保護児童対策地域協議会の事務担当者会議を開催 ◇平成20年度開催件数7回・発生（対応）件数16件	平成24年度に虐待死亡事例が発生したことを受け、二度とそのような事例を発生させないように実効性のある取り組みを推進する H25年度実績：開催件数11回
子ども虐待防止マニュアル	虐待防止マニュアルを関係機関等に配布し児童虐待との未然防止・早期発見・早期対応・再発防止に努める	平成25年度に児童虐待防止マニュアルの改訂を行い、市民向け、学校向けを新たに作成
家庭相談員	子どもの問題で困ったり、悩んでいる人に対し、相談に応じ必要な助言指導を行う	家庭児童相談室に相談員を配置し、相談に応じ必要な助言指導を行った H25年度実績：相談延べ人数18人
母子自立相談員	ひとり親家庭等に対し、生活等の相談に応じ、経済・教育など諸問題の解決の支援や自立に必要な指導を行う	家庭児童相談室に相談員を配置し、自立のための助言や情報提供を行っている H25年度実績：相談延べ人数255人
児童扶養・特別児童扶養手当	「児童扶養手当法」及び「特別扶養手当等の支給に関する法律」に基づく手当を支給	ひとり親家庭の経済的負担の軽減と、障がい児を持つ世帯への経済的負担の軽減が図られている
対象事業名	事業概要	進捗状況等

自立支援教育訓練給付事業	母子家庭の母の職業能力開発を促進するため「指導講座」を受講し、資格等の取得者に、教育訓練終了後、自立支援教育訓練給付金を支給	事前相談に対し、様々な理由から訓練開始に至らないケースが多いが、訓練終了後は、世帯の所得水準は着実に向上している H25年度実績：受給者0人
高等技能訓練促進給付事業	母子家庭の母に対し、資格取得養成期間中の生活の安定のため、高等技能訓練促進給付金を支給	訓練終了後の世帯の所得水準は着実に向上しており、社会的自立を促す効果が認められている H25年度実績：受給者2人
入院助産事業	保健上必要があるにもかかわらず、経済的な理由により入院助産を受けることができない妊産婦に助成	健康保険等から出産一時金の給付がある場合は措置対象とならず他の福祉制度もあることから対象となるケースは稀である H25年度実績：受給者0人
小児医療	安心して子どもを産み、健やかに育てることができるように、小児医療としての対応をしています。	継続実施に努める
育成医療	児童の身体障がいの除去または軽減により、生活能力を得るために必要な医療を給付	室蘭保健所で実施
特別支援教育	一人ひとりの障がいの種類・程度などに応じ、特殊支援学級の配置や介助員などの導入の推進を図る ◇平成20年度実績 特殊支援学級 小学校8校・18学級： 中学校5校・10学級	地域の学校で体験学習できる「交流学习」の実施を進める H25年度実績：24学級
言語治療教室運営事業	ことばの障がいがある子どもたちに必要な教育を行う	幌別小学校に通級教室を開設し、幼児・小学生を指導。 今後も設置校の拡充を含めて検討
児童デイサービス事業（のぞみ園）	心身に障がいのある児童の障がいを軽減させるための医療・訓練・療育等の充実を図る	平成26年度から事業を社会福祉法人に委託。 今後も委託事業の評価を行い、事業の充実に努める
通所授産事業	学齢を超えた者で就職困難な心身障がい者に、通所による作業及び生活の訓練を行い、社会人としての自立を図る	平成22年12月から事業を民間に移譲
障がい者福祉計画の策定	障がい者（児）の自立と社会参加を進めるため、平成18年度から平成24年度までの計画を策定し、障がい者（児）への支援とともに、支援施策の充実を図る	本計画と第3期登別市障がい福祉計画を一本化した新たな平成27年度を初年度とする「（仮称）登別市障がい者支援プラン」を策定予定
バリアフリー情報の提供	障がいのある方などが外出するときに役立つバリアフリー情報の提供の充実に努める	バリアフリー情報を掲載した冊子「福祉マップ」の内容見直しを平成22年度に実施
対象事業名	事業概要	進捗状況等

子どもの権利の啓発	5月5日から11日の『児童福祉週間』に子どもの権利について広報のぼりべつなどで啓発	未実施
子どもの権利のパンフレット	子どもの権利について、パンフレット等により啓発	継続実施に努める
高校生就職フォローアップ事業 (旧：高校生のための企業見学会)	就業の適性把握や就職活動の心構えなどの就職応援講座を実施 ◇ 平成20年度実績 企業見学・ミニ就労体験 12 企業・参加延べ 89 人 ビジネスマナー講座	就職後の早期離職は依然として多いことから、就職のミスマッチ解消を図ることが課題 H25年度実績：就職応援講座参加人数 50 人
高校生インターンシップ事業	市内の高校生を対象に、地元企業の協力を得ながらインターンシップ事業（就業体験）を実施 ◇ 平成20年度実績 9月から11月上旬 参加者 33 人	参加事業者数の増加や、実施期間の延長を図ることが今後の課題 H25年度実績：参加者 86 人